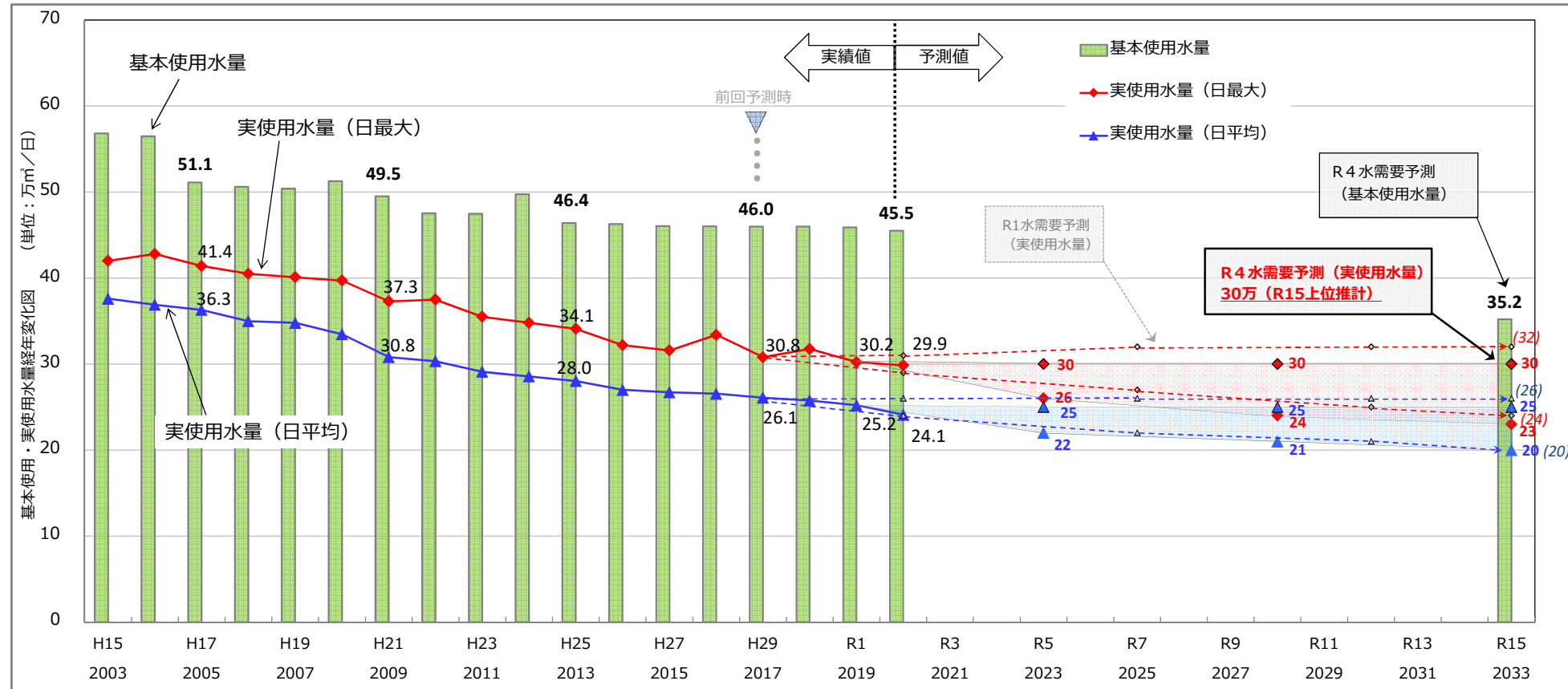
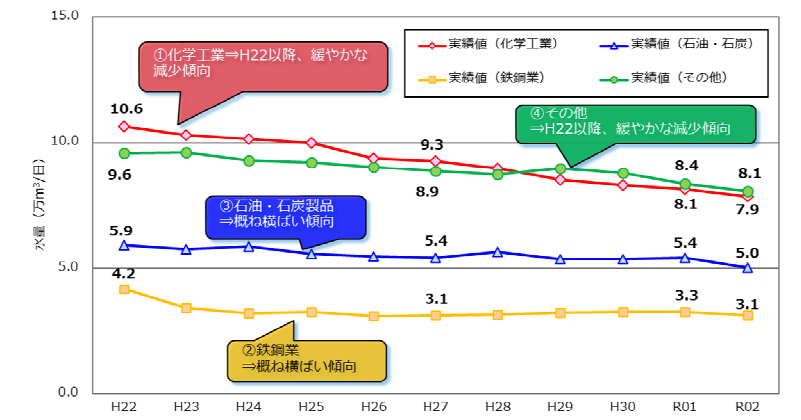


予測及び基本使用・実使用水量【日最大・日平均】経年変化図 (単位: 万m³/日)



業種別の需要の動向 (1日平均配水量)



推計方法の設定について

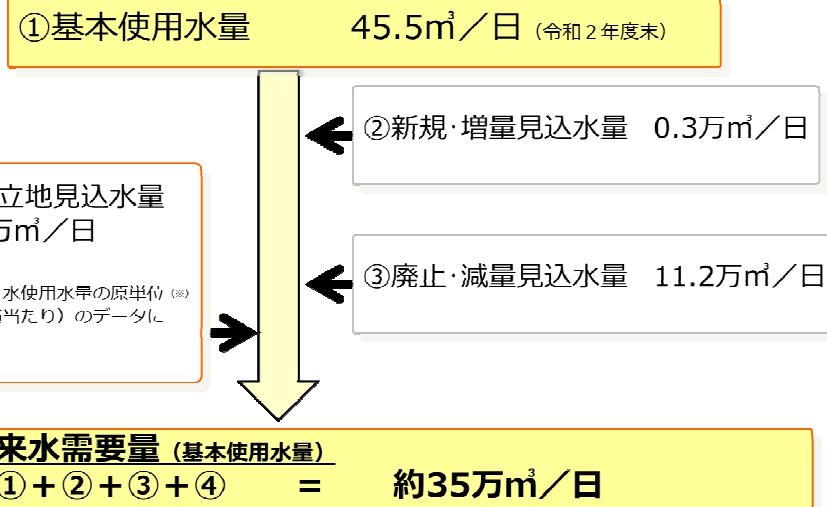
- 積上げによる推計: 将来水需要 (基本使用水量) の推計
- 実績の動向を基に推計: 将来水需要 (実使用水量) の推計

工業用水道事業では、受水事業所の申込水量である基本使用水量に加えて、本格的な施設更新を効果的・効率的に行っていくため、実使用水量に基づく水需要を予測する。

- ◇ 基本使用水量の推計
- ◇ 実使用水量の推計

◇ 基本使用水量の推計

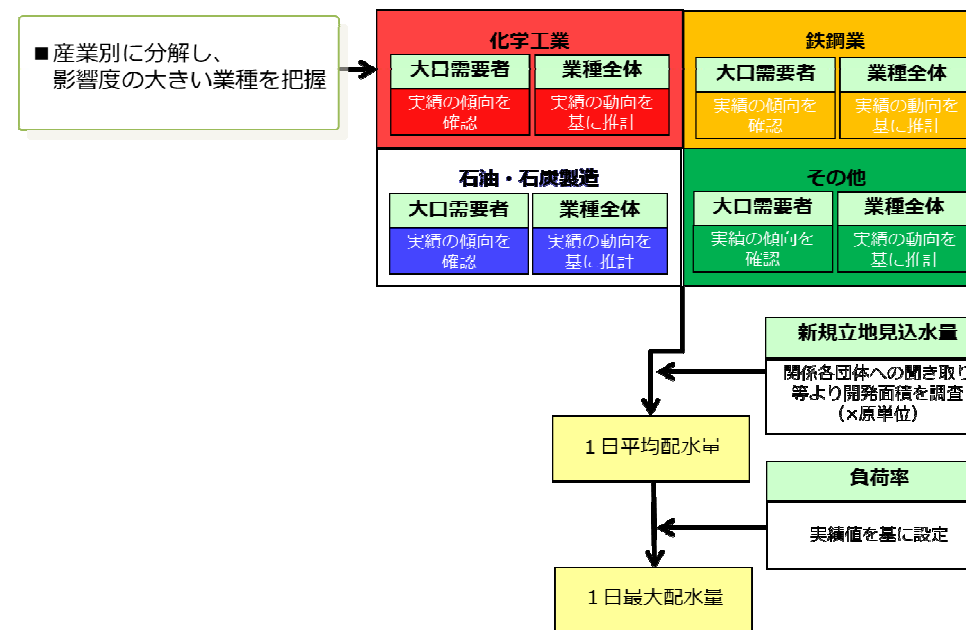
基本使用水量の推計フロー及び推計結果



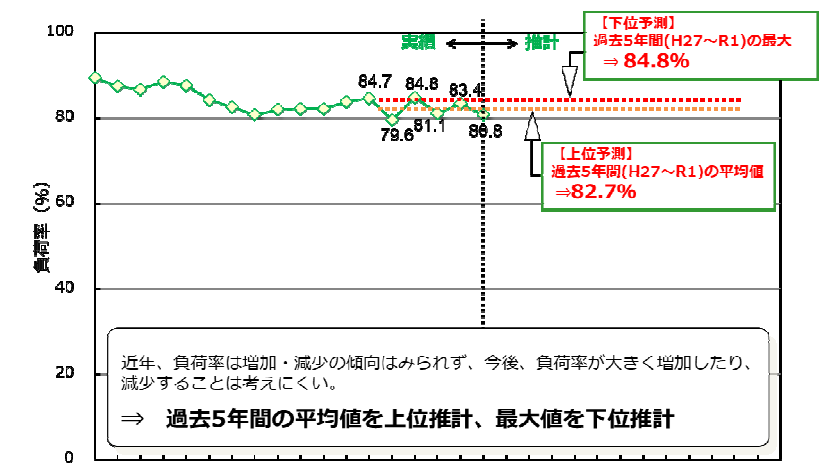
※: 臨海部既存受水事業所の敷地面積あたりの契約水量原単位 = 約232m³/日・ha
⇒ 232×24ha = 約0.6万m³/日

◇ 実使用水量の推計

実使用水量の推計フロー



負荷率の設定



近年、負荷率は増加・減少の傾向はみられず、今後、負荷率が大きく増加したり、減少することは考えにくい。
⇒ 過去5年間の平均値を上位推計、最大値を下位推計

- 水需要 (実使用水平) 全体では、減少傾向
- 業種別では、全体水量と異なる傾向もある (横ばい)
- 大口受水事業所の動向に大きく影響を受けることも考えられる。
⇒ 業種別に実績の傾向を分析するとともに、大口受水事業所の動向を反映

- 業種別の実績の傾向を分析する推計①と、より詳細な単位である大口受水事業所の動向を反映する推計②を業種毎に行う。
推計①: 1日平均配水量 (業種別) の過去10年間の時系列傾向分析を基にした推計
推計②: 大口受水事業所の使用実態にアンケート結果を反映した推計
- 推計①、②のうち、推計値が大きくなる推計を上位推計、小さくなる推計を下位推計とする
※令和2年度の水需要は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一時的な影響を受けていると考えられることから、令和元年度までの実績値を基に推計